

◎注意事項をよくお読み下さい

2025/5/30

# りそな マーケットフラッシュマンスリー (2025年6月号)

りそなホールディングス 市場企画部  
りそな銀行 国際事業部

## ◆ 今月の相場見通し

※各マーケットコメントは5月30日(金) 9:00現在  
※休日の実績は前営業日

		5月29日現在	6月の予想 (月末値)			
USD	ドル・円 (円)	144.21	138.0	~	150.0	145.0
	レンジ内ながらも関税交渉に対する楽観論が一服し上値は重くなるであろう					
EUR	ユーロ・ドル (ドル)	1.137	1.10	~	1.15	1.12
	ユーロ・円 (円)	163.92	154.0	~	169.0	162.4
米国からの資産逃避の動きは継続か						
GBP	ポンド・ドル (ドル)	1.349	1.31	~	1.38	1.33
	ポンド・円 (円)	194.55	190.0	~	197.0	192.9
関税交渉の遅れや緩やかなドル資産離れから対ドルで底堅く、対円で上値重い						
AUD NZD	豪ドル・円 (円)	92.88	88.0	~	96.0	92.0
	NZドル・円 (円)	86.03	83.0	~	89.0	86.0
豪州経済の緩やかな持ち直しが豪ドルを下支えか						
株式 相場	日経平均 (円)	38,433	36,500	~	39,000	38,200
	弱い期初予想を嫌気して低調な推移となろう					
長期 金利	NYダウ (ドル)	42,216	39,000	~	43,000	42,000
	徐々に押し目買いが入ると予想					
長期 金利	日本 (%)	1.515	1.20	~	1.60	1.30
	関税交渉がベストシナリオとならず長期金利は低下か					
長期 金利	米国 (%)	4.418	4.30	~	4.70	4.40
	上昇余地も大きくないが、低下余地も限定的					

## ◆ 今月の注目ポイント

### 関税交渉クライマックスで、様子見の金融政策

テーマ	注目度	今月の注目ポイント
政治	◎	【対米関税交渉アップデート】7月に関税交渉の最終期限を控え、日本、中国、欧州といった主要国との交渉動向が注目される。相互関税の完全撤廃は難しいとみられ、10%をベースラインにどの程度上乗せされるかが焦点。来年に中間選挙を控えた中で、交渉はまとまる方向にあるとみられる。但し、ある程度こうした楽観的なシナリオは織り込みつつあり、追加的なリスク資産の買い材料とはなりにくい。トランプ減税の延長といった財政刺激策にも注目が集まることになろう。
経済	○	【日米金融政策】6月中旬に日米の金融政策会合が開かれるが、現状維持がコンセンサス。関税政策の全貌が見えない環境下で雇用・物価への影響が見極めづらい。公表されるFRBの利下げ見通し(ドットチャート)は、現状と比較して、慎重となる可能性がある。一方日銀もデータを確認するまで利上げは難しいとのスタンスであろう。但し、顕著に米国の雇用が崩れるなどマクロ情勢に変化が見られれば、米利下げ観測が一気に高まる可能性があることには留意したい。

## ◆ アジア通貨見通し

	5月29日現在	6月の予想 (月末値)			
人民元・円	20.05	19.30	~	20.70	20.40
バーツ・円	4.425	4.30	~	4.55	4.40
ルピア・円	0.884	0.88	~	0.93	0.91

## ◆ 今月の重要日程

2日(月) 米	5月ISM製造業景況感指数	17日(火) 日	金融政策決定会合
3日(火) 日	植田日銀総裁講演	17日(火) 米	5月小売売上高
5日(木) 欧	ECB定例理事会	18日(水) 米	FOMC
6日(金) 米	5月雇用統計	20日(金) 日	5月全国CPI
11日(水) 米	5月CPI	22日(日) 日	通常国会会期末
16日(月) 中	5月生産・小売・投資	24日(火) 米	FRB議長議会証言

◎注意事項

本資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい

2025/5/30

# りそな マーケットフラッシュマンスリー (2025年6月号)

りそなホールディングス 市場企画部  
りそな銀行 国際事業部

## ◆ 今月の相場見通し① 為替 (ドル・ユーロ)

### ドル 円



出所：Bloomberg

米ドル円

**138.00 – 150.00円**

#### レンジ内ながらも関税交渉に対する楽観論が一服し上値は重くなるであろう

5月のドル円相場は142-149円のレンジ内で推移。英国との関税交渉がまとまり、中国に対する相互関税の上乗せ部分を90日間115%引き下げたことが好感され、一時150円の節目を試す場面も見られた。その後、米国の格下げや20年債入札の不調がドル売りを誘発し140円台前半の水準を試したが、月末にかけては財政警戒感が後退し、下げ渋る展開となった。

6月のドル円はイベントも多く、振れは出やすいものの、足もとは関税交渉に対する楽観的な見方が広がっており、徐々に上値は重くなるであろう。7月の交渉期限を控え、日本、中国、欧州との交渉動向が注目される。トランプ政権は中間選挙を控え、混乱を避ける意図があるとみられるため、リスクオフ環境下でも下値余地は限定的と予想される。一方で、楽観的な見方が既に広がっていることから、上値余地も限られる可能性が高い。

また、日米の金融政策会合が予定されているが、現時点では関税政策の全貌が不透明であり、景気やインフレへの影響を判断するのは難しい。中期的な金融政策観測が大きく変動する状況にはないと考えられる。

### ユ ー ロ



出所：Bloomberg

ユーロドル

**1.10 – 1.15ドル**

ユーロ円

**154.00 – 169.00 円**

#### 米国からの資産逃避の動きは継続か

5月のユーロは、対ドルは中旬頃に一時下落も月末にかけては水準を戻し、対円は引き続き概ね横ばいで推移した。先月から引き続き、資産の逃避先としてユーロが買われやすい地合いとなったものの、12日に米中で関税率を相互に115%引き下げる合意が報じられると、ドル買いが進み一時ユーロドルは下落する場面があった。その後は米国債格下げなどが再びドル売りの材料にされ、ユーロドルは1.14ドル前後まで水準を戻した。

6月のユーロは、対ドル・対円ともに基本的には横ばい圏で推移することを見込む。先日トランプ米大統領がEUに対し50%の関税を適用することを示唆したものの、中国の例からも期限までにある程度のデールが成立し緩和されることが想定される。5日のECB理事会では25bpsの追加利下げが既にほとんどフルで織り込まれているが、中立金利とみられる水準に達する今会合で今後の追加利下げに関して言及があれば、ユーロ売り材料となろう。

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい

2025/5/30

# りそな マーケットフラッシュマンスリー (2025年6月号)

りそなホールディングス 市場企画部  
りそな銀行 国際事業部

## ◆ 今月の相場見通し② 為替 (ポンド・豪ドル・NZドル)

### ポンド



出所：Bloomberg

ポンドドル	1.31 – 1.38ドル
ポンド円	190.00 – 197.00円

#### 関税交渉の遅れや緩やかなドル資産離れから対ドルで底堅く、対円で上値重い

5月のポンド円相場は、トランプ政権との関税交渉がまとまり、中国との相互関税も90日間115%の引き下げが決定したことで3月以来となる196円水準を上回った。しかし、その後は米国の格下げもあり、リスク回避の動きが強まり、上げ幅を縮小。しかし、米国財政への警戒が一服し、関税交渉の先行きに楽観的な見方も根強いなか、月末にかけて急速に値を戻した。

6月の英ポンド相場は対ドルで底堅く、対円では上値の重い展開を予想する。米英の関税交渉は妥結しているものの、引き続き日本、欧州、中国との動向如何で相場が振られやすい状況が継続するであろう。足もとは関税交渉の決着にやや楽観的な見方が広がっていることから、交渉の遅れは素直にドル売り、円買いにつながりやすい。緩やかなドル資産離れの動きも英ポンドの下支えとなるとみる。金融政策面では足もとでインフレ統計が上振れており、BOEは利下げには慎重となることが想定される。FRBと同様に当面は経済指標を見極めるスタンスが続くと見込まれ、金融政策については、ポンドの方向感を左右する材料とはならないであろう。

### 豪ドル・NZドル



出所：Bloomberg

豪ドル円	88.00 – 96.00円
NZドル円	83.00 – 89.00円

#### 豪州経済の緩やかな持ち直しが豪ドルを下支えか

5月のオセアニア通貨は対ドル・対円ともに概ね横ばいで推移した。4月2日の米相互関税詳細発表時の下落からの回復傾向は5月も継続した。また、12日の米中関税合意直後は、中国と貿易面で結び付きの強い豪州についても、一時対円で買いが優勢となった。一方、20日の会合では、25bpsの利下げは市場予想通りだったものの、これまでのタカ派的姿勢からややハト派的に転換したことが、豪ドルの上値を抑えた。

6月のオセアニア通貨は、引き続き比較的堅調な推移を見込む。米中の関税引き下げによって中国経済に対する大幅な下押しが避けられる公算が高まったことに加え、豪中銀の利下げ継続姿勢を受けて豪州経済は緩やかな持ち直しの動きが継続するとみられる。一方、豪中銀がより急速な利下げを行う場合、もしくは米FRBの利下げがより後ずれする場合には、対米金利差の拡大からオセアニア通貨の下押し材料となる。

◎注意事項  
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい

2025/5/30

# りそな マーケットフラッシュマンスリー (2025年6月号)

りそなホールディングス 市場企画部  
りそな銀行 国際事業部

## ◆ 今月の相場見通し③ 株式、長期金利

### 株式見通し



日経平均

**36,500 – 39,000円**

#### 弱い期初予想を嫌気して低調な推移となる

トランプ大統領の想定以上に厳しい関税措置の発表(後日、相互関税については90日間の一時的停止措置が発表された)や、円高進行を嫌気し、予想EPSは下方修正が優勢となり、指数の上値は重くなる。ただし、5月上旬頃まで個別材料を無視して、関税を巡るニュースに市場が一喜一憂していたこともあり、優良銘柄の物色は進むだろう。今後は、指数の上値が重い一方で、構成銘柄については、個別銘柄毎にパフォーマンスの明暗が分かるとみる。

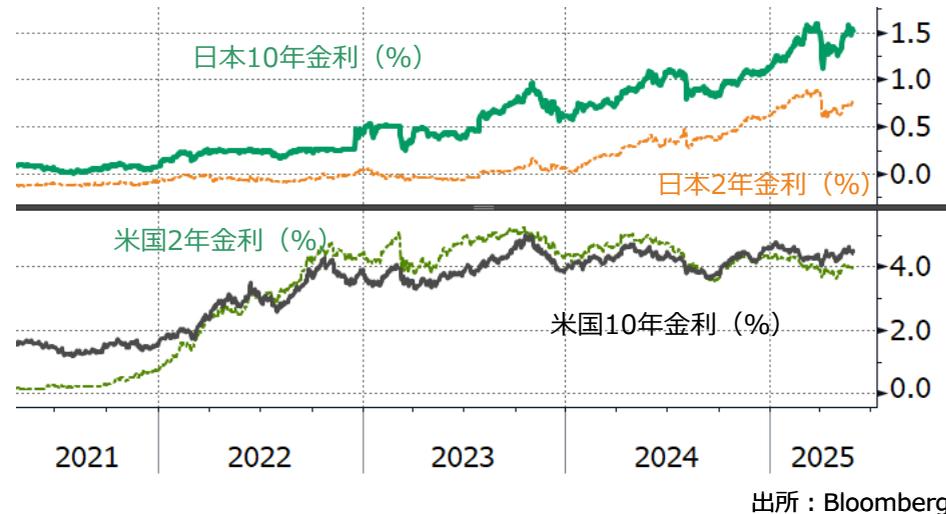
NYダウ

**39,000 – 43,000ドル**

#### 徐々に押し目買いが入ると予想

ハイテク株は年初来予想EPSが改善基調にある一方で(ソフトウェア企業、競争力の高い企業が多く含まれ、関税影響が少ない)、高いベータがリスクプレミアムを増幅し、ファンダメンタルズ以上に大きく売られてきた。ここも、やや反発の兆しが見えているが、バリュエーション上は割安感が依然として残っている。今後は米中関係の進展もあり、ハイテク株を中心に徐々に押し目買いが入り、緩やかにではあるが指数は水準を切り上げよう。

### 長期金利見通し



日本国債10年

**1.20 – 1.60%**

#### 関税交渉がベストシナリオの結果にはならないことで長期金利は低下

日米政府は関税交渉を続けているが、6月半ばにカナダで開催されるG7首脳会合で、石破首相とトランプ大統領の会談が予定されており、交渉が合意に至ることが見込まれている。選挙公約などを踏まえると、自動車についてトランプ大統領が簡単には引き下がることは想定されず、ある程度の関税が残る可能性が高いだろう。関税による景気の下押し懸念と、足元の市場の混乱で日銀が国債買入の削減を積極的に決断できないこともあり、長期金利は低下すると見ている。

米国債10年

**4.30 – 4.70%**

#### 上昇余地も大きくないが、低下余地も限定的

金利は4.3%~4.4%程度を妥当値とみている。足元の水準は、期待インフレ率の上昇もあって、妥当値をやや上回っている。足元の期待インフレ率の上昇は、エネルギー価格の低下や住宅関連のインフレ率の趨勢からは、やや過剰であるとの印象を受けるが、物価指標等にこうした足元のデータが波及するまでには、3か月程度のラグが必要であるため、期待インフレ率が高止まりする可能性が高い。米金利が一層上昇することは見込み難いが、かといって低下余地も限定的だろう。

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい

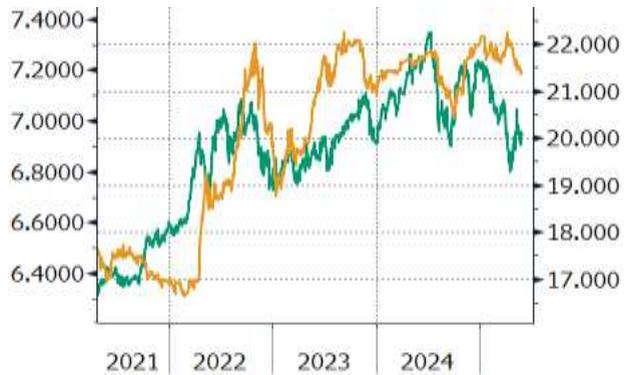
# りそな マーケットフラッシュマンスリー (2025年6月号)

りそなホールディングス 市場企画部  
りそな銀行 国際事業部

## ◆ 今月の相場見通し④ 新興国通貨 (アジア)

		6月の予想		見通し
中国	人民元/円	19.30	~ 20.70	<b>米中の追加関税は90日間的大幅緩和、中国は景気下押し圧力が薄れドル安元高推移か</b> 5月12日、米中相互の追加関税について、90日間それぞれ115%の引き下げで合意。6月の為替見通しは、米中貿易摩擦が緩和に向かったことによる中国景気下押し圧力の縮小から、5月に続きドル安元高に推移するだろう。また、5月の経済指標は金融政策や財政政策によって想定より悪化していなかったことや、ドル需要面では米ドル信認低下に伴うドル売りが目立ち、振れを伴いながらも元高推移は継続すると予想。延長期限となる8月初旬までは関税交渉がどの程度の水準で折り合いがつかを材料に変動するだろう。
	ドル/人民元	7.10	~ 7.25	
タイ	バーツ/円	4.30	~ 4.55	<b>バーツは観光需要、関税交渉進展で堅調推移を予想</b> 5月のタイバーツは関税交渉に対する楽観的な見方が広がる中で、対円で底堅く推移。対ドルでも中旬にかけては売り買いが交錯したが、月末にかけて徐々にバーツ買いが優勢となった。6月のタイバーツは堅調推移を予想。観光シーズンを控え、欧州や中国からの観光客需要が相応に期待できる。また米国との関税交渉もエネルギー、農産物、航空機の購入を検討しており、交渉期限の7月に向け着実な進展が期待できる。
	ドル/バーツ	32.0	~ 34.0	
インド	100ルピア/円	0.88	~ 0.93	<b>ルピアは対ドル・対円ともに安値圏でのみ合いを予想</b> 5月のルピアは、対ドルでルピア高・対円で小幅なルピア安で推移。二転三転するトランプ関税は、米ドルの信認低下を助長しルピア高が進行した。また、インドネシア中銀は21日、政策金利を0.25%引き下げて、5.50%としたことで、市場は金融緩和が景気を刺激するとの見方からルピア買いにつながった側面もある。4か月ぶりの利下げは、ルピア安が緩和傾向にあることやインフレ見通しの落ち着きが背景にある。6月公表のインフレ率も低下する見通しで利下げに向けた環境が整うことになる。市場は年内残り1回の利下げを見込んでいる。
	ドル/ルピア	15,000	~ 16,200	

—ドル・人民元 (左軸) —人民元・円 (右軸)



—ドル・バーツ (左軸) —バーツ・円 (右軸)



—ドル・ルピア (左軸) —ルピア・円 (右軸)



出所：Bloomberg

◎注意事項  
 当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

# りそな マーケットフラッシュマンスリー (2025年6月号)

りそなホールディングス 市場企画部  
りそな銀行 国際事業部

## ◆ 年間為替見通し

		2025年			2026年			ポイント
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
ドル円	レンジ	138 ~ 150	130 ~ 150	135 ~ 155	135 ~ 155	FRBによる金融緩和と日銀による追加利上げ観測を背景とした緩やかな日米金利差縮小の思惑でドル安円高基調継続も年度末にかけてドル安は一服。		
	期末値	145	140	145	145			
ユーロドル	レンジ	1.07 ~ 1.16	1.05 ~ 1.15	1.02 ~ 1.12	1.02 ~ 1.12	財政拡張方針や米国からの資産逃避を受けて急速にユーロ高となった。ECBが中立金利とされる2%付近まで漸進的に利下げを継続することによって次第に景気回復傾向が鮮明となれば、ユーロは先行きも比較的堅調な推移を見込む。		
	期末値	1.12	1.10	1.07	1.07			
ユーロ円	レンジ	158 ~ 169	145 ~ 165	145 ~ 165	145 ~ 165	英中銀は昨年8月より利下げを開始し、インフレ動向を確認しながらの緩やかな利下げが想定される。日英金利差縮小が見込まれ、ポンド円は徐々に上値が重くなる展開を想定。		
	期末値	162	154	155	155			
ポンドドル	レンジ	1.27 ~ 1.38	1.26 ~ 1.36	1.24 ~ 1.34	1.22 ~ 1.32	足元、米中貿易交渉が追加関税115%の引き下げで合意したことで元高に推移。中長期的には、米中関税政策の進展と経済政策を下支えとする中国景気の底堅さが示されることで元高基調は続く予想。24年9月末につけた7ドル/人民元割れは追加のイベントが必要だろう。		
	期末値	1.33	1.31	1.29	1.27			
ポンド円	レンジ	184 ~ 197	170 ~ 190	175 ~ 195	174 ~ 194	豪中銀は2月に利下げ局面入りし、今後は漸進的な利下げパスが見込まれる。利下げによる経済回復期待から、次第に豪ドルは上昇局面入りか。		
	期末値	192	183	187	184			
ドル人民元	レンジ	7.00 ~ 7.35	7.10 ~ 7.35	7.05 ~ 7.30	7.00 ~ 7.25	観光業の回復、景気支援策から底堅く推移するが、日銀政策修正の思惑で徐々に下落へ。		
	期末値	7.10	7.20	7.15	7.10			
人民元円	レンジ	19.10 ~ 20.70	18.00 ~ 21.00	19.00 ~ 21.5	19.00 ~ 21.05	お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。		
	期末値	20.40	19.44	20.28	20.42			
豪ドル円	レンジ	86.00 ~ 96.00	84.00 ~ 96.00	86.00 ~ 98.00	90.00 ~ 102.00	当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。		
	期末値	92.00	90.00	92.00	96.00			
タイバーツ円	レンジ	4.15 ~ 4.55	4.10 ~ 5.10	4.00 ~ 5.00	4.00 ~ 5.00			
	期末値	4.40	4.60	4.50	4.40			

◎注意事項  
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。  
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

◎注意事項をよくお読み下さい

# りそな マーケットフラッシュマンスリー (2025年6月号)

りそなホールディングス 市場企画部  
りそな銀行 国際事業部

## ◆ マーケットカレンダー

	日本	米国	その他		日本	米国	その他
6/2(月)	1-3月期法人企業統計調査	5月ISM製造業景況指数		6/16(月)		20年債入札	(中) 5月生産・小売・投資
6/3(火)	10年債入札	4月製造業受注	(中) 5月製造業PMI			6月NY連銀製造業景況指数	
6/4(水)		5月ADP雇用統計		6/17(火)	植田日銀総裁定例会見	5月小売売上高	(独) 6月ZEW景況指数
		5月ISM非製造業景況指数		6/18(水)	4月機械受注	5月住宅着工・許可件数	
		米地区連銀経済報告			5月貿易統計	FOMC (結果発表)	
6/5(木)	30年債入札	4月貿易収支	(欧) ECB定例理事会	6/19(木)	5年債入札	(奴隷解放記念日)	(英) BOE金融政策委員会
	4月毎月勤労統計 (速報)			6/20(金)	5月消費者物価指数	6月フィラデルフィア連銀製造業景況指数	
6/6(金)	4月家計調査	5月雇用統計			日銀金融政策決定会合議事要旨(4/30~5/1開催分)		
6/9(月)	1-3月期GDP (二次速報値)		(中) 5月CPI	6/23(月)		5月中古住宅販売	(欧) 6月PMI (速報値)
	5月景気ウォッチャー調査			6/24(火)	20年債入札	2年債入札	(独) 6月IFO企業景況感指数
6/10(火)		3年債入札				6月消費者信頼感指数	
6/11(水)	5月企業物価指数	10年債入札		6/25(水)		5月新築住宅販売	
		5月CPI				5年債入札	
6/12(木)		30年債入札		6/26(木)	2年債入札	1-3月期GDP (確定値)	
		5月PPI				7年債入札	
6/13(金)				6/27(金)	5月労働力調査	5月個人所得・消費支出	
				6/30(月)	5月鉱工業生産		(中) 6月PMI
					5月住宅着工件数		



◎注意事項  
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

# りそな マーケットフラッシュマンスリー (2025年6月号)

りそなホールディングス 市場企画部  
りそな銀行 国際事業部

## 中国の動向-主要トピックス

りそな銀行上海駐在員事務所

### 【5/9～15】

#### ◎4月の輸出8.1%増、米国向け2割減

中国税関総署が9日発表した2025年4月の貿易統計によると、輸出額は前年同月比8.1%増の3,156億9,240万米ドル（約45兆9,000億円）、前月の12.4%増から伸びが鈍化。プラスは12期連続で、集積回路や自動車の輸出が伸びた。一方、対米輸出は前年同月比21%減の330億ドル（約4兆8,000億円）、輸入は13.8%減の126億ドルだった。トランプ米政権との間で高関税をかけ合う貿易戦争が始まった影響が表れた。米国を除いた主要輸出先は堅調を維持。

### 【5/16～22】

#### ◎乗用車市場で価格競争進む、NEVの値下げ幅大きく

中国の乗用車市場で価格競争が進んでいる。2025年1-4月の乗用車の新車平均販売価格は17万元（約343万円）、24年平均から約4%下落。中でも「新エネルギー車（NEV）」は下げ幅が大きく、7%以上値下がりした。今年に入ってから値下げ車種は減っているものの、乗用車の買い替えに補助金を出す政策が中低価格帯の販売を伸びたことで、平均価格を押し下げた。年後半は原材料価格の低下などを背景にメーカーの価格競争がさらに激しくなると見られている。

## 主要経済指標

項目	単位	2024/6	2024/7	2024/8	2024/9	2024/10	2024/11	2024/12	2025/1	2025/2	2025/3	2025/4
実質GDP成長率	%	4.7	-	-	4.6	-	-	5.4	-	-	5.4	-
消費者物価上昇率	%	0.2	0.5	0.6	0.4	0.3	0.2	0.1	0.5	-0.7	-0.1	-0.1
都市部調査失業率	%	5.0	5.2	5.3	5.1	5.0	5.0	5.1	-	5.4	5.2	5.1
輸出額	10億ドル	307.3	300.2	308.3	303.4	308.9	311.9	335.7	324.7	215.0	313.6	315.7
輸入額	10億ドル	208.2	214.7	216.6	221.6	213.2	214.7	230.6	186.0	183.3	211.1	219.4
経常収支	100万ドル	102,707	-	-	260,144	-	-	423,919	-	-	-	-
外貨準備高	10億ドル	3,222.4	3,256.4	3,288.2	3,316.4	3,261.1	3,265.9	3,202.4	3,209.0	3,227.2	3,240.7	3,281.7
主要政策金利	%	4.35	4.35	4.35	4.35	4.35	4.35	4.35	4.35	4.35	4.35	4.35
対ドル為替レート	人民元	7.25	7.26	7.15	7.08	7.11	7.21	7.28	7.31	7.28	-	-

※ 対ドル為替レート：期末又は月末値 主要政策金利：1年物貸出基準金利

出所：Bloomberg

## ◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

# りそな マーケットフラッシュマンスリー (2025年6月号)

りそなホールディングス 市場企画部  
りそな銀行 国際事業部

“上海下午茶” (上海からティータイム)

りそな銀行上海駐在員事務所

## ○中国の「彼女経済」

中国の女性の消費意欲と消費額がどんどん高くなり、「彼女経済」という言葉がトレンド化しています。特に30～40代女性を中心とした自分のための消費が「中女（中年女性）消費」として注目され始めました。

中国では、大躍進政策、文化大革命、改革開放などの歴史的イベントの影響で、現在60代以上の女性は、家族・子供のために一生の時間とお金を捧げ、若い時に自分のためにほとんど何も消費してなかったと言えます。

現在、1980～1990年代生まれの女性は中年になりました。彼女たちが経験した政治環境、経済水準、教育レベルは現在の60代以上の女性とは雲泥の差があります。特に、一人っ子政策の影響で都市部では、女性は男性と同様の教育環境を享受し、職場での給与差が縮小し、経済的には男性と同等となる傾向があります。現代の中国女性は経済的に独立し、家庭の消費の主導権を握ると同時に、自分のための消費が可能となりました。

彼女たちが重視するキーワードは3つあります。一つは、「悦己」の情緒価値です。中国では、経済の回復が見通せず、いつ解雇されるか、いつ給料が減るか、いつ保有する不動産や金融資産の価値が下落するか、人々は常に不安に駆られています。特に30～40代の女性は不安が多いといわれる世代です。そのため、不安を和らげて「楽しい」と思える「情緒価値」を求めるようになりました。例えば、近年、中国の美容整形市場は驚異的な成長を遂げています。2015～2020年中国の美容整形市場の規模は637億元から1,550億元に急成長し、2025年に3,500億元を超えると推測されています。

もう一つは「健康」意識の高まりです。「バランスの良い食事」、「免疫力向上」、「良質な睡眠」などへの意識が高くなっています。例えば、中国のスポーツ消費市場は近年急速に成長を遂げ、特に女性消費者の参入が市場を大きく牽引しています。調査データによると、2023年の中国運動靴・運動ウェアの市場規模は4,926億元に達しており、2025年には5,989億元まで拡大すると予測されています。

また、女性たちは、「もっといい自分になりたい」という意欲が高い点が、今までの世代と大きく違います。母親世代は、子供や家族のために自分を犠牲にし、自分のための消費を後回しにしてきました。現在の女性は親になっても、趣味でハンドメイドの教室に通ったりします。例えば、革グッズ教室、パン教室、編み物教室などが中国各地で徐々に流行しています。

調査によると、中国の20～60歳の女性は約4億人に達し、市場規模は約10兆元（約200兆円）と推計され、今後は拡大を続けると見られています。経済を活性化したい地方政府もこうした動きに注目しています。

2025/5/30

◎注意事項をよくお読み下さい

# りそな マーケットフラッシュマンスリー (2025年6月号)

りそなホールディングス 市場企画部  
りそな銀行 国際事業部

## タイの景気動向

りそな銀行バンコック駐在員事務所

### ◆2025年3月の経済活動鈍化

・タイ中央銀行は2025年3月の経済報告書で、前月と比べて経済活動が減速したとの見方を示した。観光業と民間投資の伸びの鈍化等が背景にある。一方、輸出が拡大したことで、製造業は改善基調にある。

・鉱工業生産指数は前年同月比0.7%減と、8カ月連続のマイナスになったが、下げ幅は前月の3.9%減から縮小した。電気自動車やハードディスクドライブの生産等が増加した。民間投資は同2.9%減少した。建設投資は前月と横ばいだったものの、機械・設備投資は減少した。民間消費は同3.4%増加。外国人観光客の減少を受け、サービス業、特にレストラン・ホテルの分野に響いた。

### ◆2025年4月のCPI、前年同月比0.22%低下

・タイ商務省が発表した2025年4月の一般消費者物価指数（CPI）の平均値は、前年同月比0.22%低下した。13カ月ぶりにマイナスに転じた。原油相場が下落し、政府が物価抑制策を引き続き実施していること等が背景にある。

### ◆米国の相互関税、タイに36%

・米国トランプ政権は4月2日、各国に一律10%の関税を課したうえで、タイを含む対米貿易黒字国に上乗せする「相互関税」の税率を発表した。タイの相互関税率は36%。相互関税は9日以降に適用される予定だったが、90日間の猶予期間（7月8日まで）に変更された。タイ商務省によると、相互関税で影響を受ける輸出品目として、スマートフォン・携帯電話、自動車タイヤ、コンピューター・端末、半導体機器、変圧器が挙げられる。

### ◆タイ中央銀行、政策金利を1.75%に引き下げ

・タイ中央銀行は4月30日、政策金利（翌日物レポ金利）を2.00%から1.75%に引き下げた。米国の高関税政策により世界経済の先行きに不透明感が高まっていることを踏まえ、国内の景気下支えを重視する姿勢を示した。利下げは2025年2月以来。

## 主要経済指標

項目	単位	2024/6	2024/7	2024/8	2024/9	2024/10	2024/11	2024/12	2025/1	2025/2	2025/3	2025/4
実質GDP成長率	%	2.3	-	-	3.0	-	-	3.3	-	-	3.1	-
消費者物価上昇率	%	0.6	0.8	0.4	0.6	0.8	1.0	1.2	1.3	1.1	0.8	-0.2
失業率	%	1.1	1.1	1.1	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	-
輸出額	100万ドル	24,806	25,721	26,182	25,983	27,222	25,608	24,766	25,277	26,707	29,548	-
輸入額	100万ドル	24,388	27,094	25,917	25,589	28,016	25,833	24,777	27,157	24,719	28,575	-
経常収支	100万ドル	1,652	-227	1,349	1,205	960	1,229	2,046	2,657	5,490	2,328	-
外貨準備高	10億ドル	224.3	230.6	235.7	243.0	238.6	237.5	237.1	242.1	244.8	245.3	256.8
主要政策金利	%	2.50	2.50	2.50	2.50	2.25	2.25	2.25	2.25	2.00	2.00	1.75
対ドル為替レート	バーツ	36.7	36.2	34.7	33.3	33.4	34.5	34.2	34.2	33.8	-	-

※ 対ドル為替レート：期末又は月末値 主要政策金利：タイ翌日物レポ金利

出所：Bloomberg

◎注意事項  
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい

2025/5/30

# りそな マーケットフラッシュマンスリー (2025年6月号)

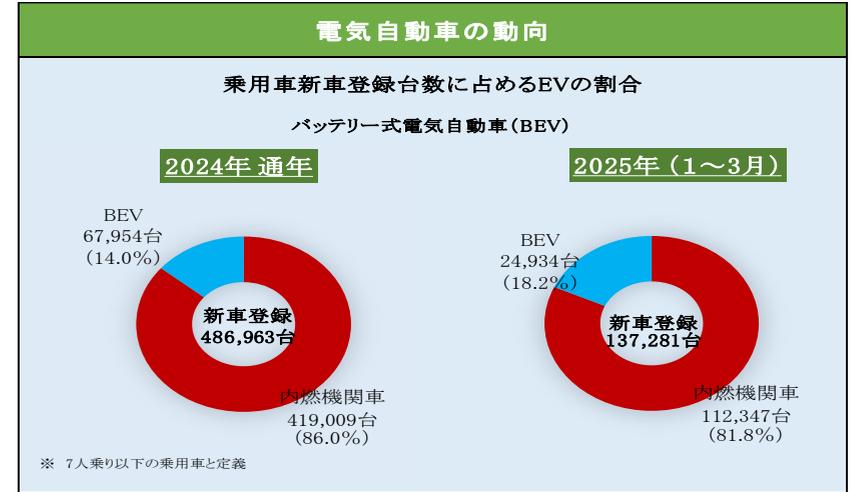
りそなホールディングス 市場企画部  
りそな銀行 国際事業部

## タイにおける自動車産業の動向

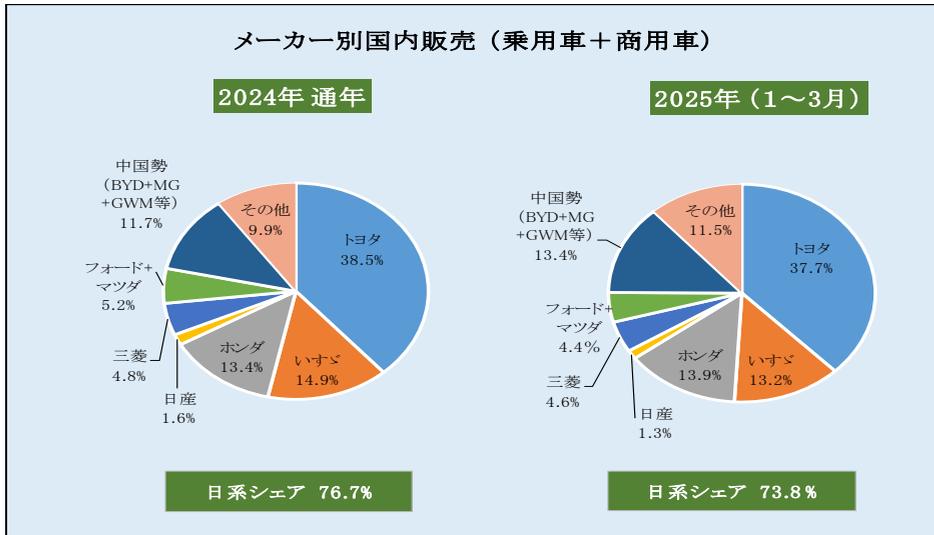
りそな銀行バンコック駐在員事務所

生産・国内販売・輸出の動向			2022年	2023年	2024年	2025年 (1~3月)	前年同期比 (%)	3月
【台数】 (台)								
四輪	生産台数	乗用車	600,839	648,803	558,440	119,865	77.3	45,588
		商用車	1,282,676	1,192,883	910,557	232,634	89.8	84,321
		合計	1,883,515	1,841,686	1,468,997	352,499	85.1	129,909
	国内販売台数	乗用車	265,069	292,505	224,148	58,234	88.8	21,054
		商用車	584,319	483,275	348,527	94,959	96.8	34,744
		合計	849,388	775,780	572,675	153,193	93.5	55,798
	輸出台数	1,000,256	1,117,539	1,019,213	220,139	81.4	80,914	
二輪	生産台数	2,015,940	2,120,738	1,887,208	531,458	99.6	185,931	
	国内販売台数	1,792,016	1,856,814	1,683,239	455,244	101.7	151,331	
	輸出台数	1,034,840	822,608	938,762	242,096	95.4	91,951	
【完成車輸出金額】 (百万バート)								
四輪			619,348	719,992	699,163	156,188	82.6	57,416
二輪			73,729	68,589	63,969	17,525	88.9	6,732

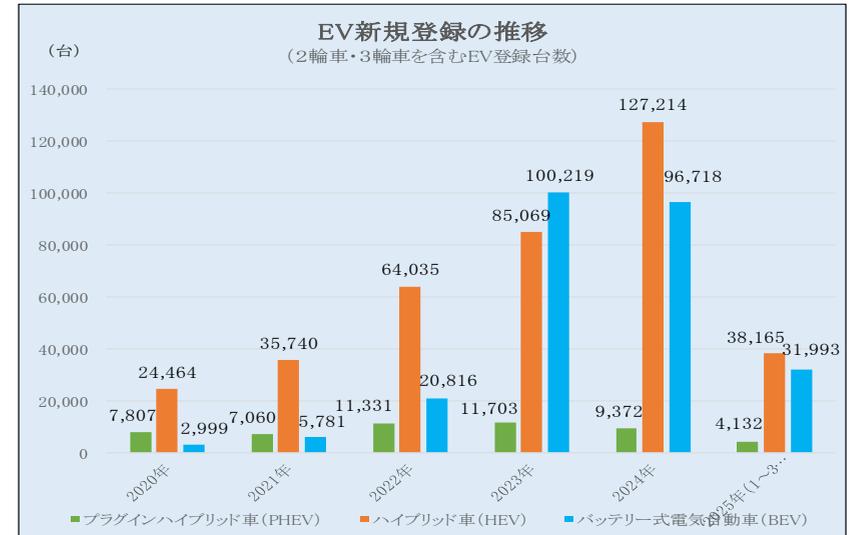
出所:タイ工業連盟(FTI)



出所:タイ運輸者陸上運送局のデータを基に作成



出所:タイ国トヨタ自動車のデータを基に作成



出所:タイEV協会、タイ運輸者陸上運送局

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。